

# 学校経営方針

## 1 教育目標

- ▲一、自ら学び深く考えよう (確かな学力【知】)
- ◆一、身体を鍛えたくましく生きよう (健やかな体【体】)
- 一、礼儀正しく思いやりの心をもとう (豊かな心【徳】)
- 一、勤労を重んじ進んで奉仕しよう (社会貢献) (下線は本年度の重点目標)

## 2 目指す学校像

- ▲思考力・判断力・表現力を発揮して主体的に学ぶ生徒を育む学校
- ◆心身の健康を大切に、主体的に運動や生活習慣づくりに取り組む生徒を育む学校
- 他者を思いやり、多様性を尊重しながら、よりよく生きようとする心を育む学校
- 他者と協働しながらよりよい社会の実現に主体的に関わる生徒を育む学校

## 3 基本方針

### ▲自ら学び深く考える生徒を育成するために

- ・学習指導要領に則り、誰一人取り残さず生徒の発達段階を踏まえ個に応じたきめ細やかな指導及び支援を行い、確かな学力を定着させる。また、全教科・領域にわたり主体的・対話的で深い学びを実現し、全ての教育活動を通して生徒が主体となる活動場面の創出を図る。
- ・教科等横断型カリキュラムを活用し、地域人材等をいかした質の高い授業の創造を目指す。
- ・一人1台モバイル端末等を活用し、生徒の主体的な学びを促し、学びに向かう力を育む。

### ◆身体を鍛えたくましく生きる生徒を育成するために

- ・生徒が主体的に健康な生活を考え実践するために「食に関する正しい知識と望ましい食生活」、「生涯にわたって運動に親しむこと」、「安全な生活」についての取組を推進する。
- ・体育的活動や学校2020レガシー、ちょこプラ1調布の取組を通して、心身の健康の保持増進に意欲的に取り組もうとする意識を高め、心身ともに健全な生徒の育成を図る。

### ●礼儀正しく思いやりの心をもつ生徒を育成するために

- ・自他の大切さを認め、多様な価値観を基に自己の生き方を考える人権教育を推進する。
- ・道徳科の授業を要とし、全教育活動を通じて「心の教育」の充実を図る。
- ・係活動や委員会活動等を通じて、学級の一員としての自覚を育てるとともに、生徒の自己有用感やコミュニケーション能力を向上させ、自律心や社会性を育む。

### ■勤労を重んじ進んで奉仕する生徒を育成するために

- ・小・中・高の12年間を見通したキャリア教育を実現し、勤労を重んじる精神を育成する。
- ・学校運営協議会設置校として、社会に開かれた教育課程を通して、地域とともに学校の教育力の向上を図る。
- ・地域の人材や資源を生かし持続可能な仕組みを構築し、次代の社会を担う生徒の育成を図る。

### ★学校の教育目標の達成に向けたその他の事項

- ・「いじめ総合対策【第3次】」に基づき、いじめの未然防止や早期発見、そして早期対応について学校いじめ対策委員会にて組織的に対応するとともに、関係機関等との連携を図る。
- ・不登校生徒等の一人一人のニーズに応じた支援策を組織的に検討・実施する。また別室指導の拡充や一人1台モバイル端末の活用により、生徒の居場所づくり、絆づくりを行う。
- ・校内のユニバーサルデザインを推進し、すべての生徒が安心して学べる環境を整える。

## ➤ スローガン

調布中を最高の場所に～互いを認め合い、自分も他者も大切に作る学校～